

前回会議の振り返りと論点

- ・「新たな公共施設」の視点から、皆さんが思い描く施設機能のイメージがある程度見えてきました。
- ・市民がどのように使い、将来のまちづくり構想の延長線上に、本施設がどのように位置づけられ、身の丈にあった、運営面も考慮された現実的な施設規模などを考える必要があります。

● まちなかでの立地について考えよう

- ・施設を整備する上で、立地場所はとても重要です。
- ・「新たな公共施設」のイメージ＝「新しい留萌の拠点」となるイメージとなるはずです。
- ・それでは、「新しい留萌の拠点」に相応しい場所はどこか。（拠点施設は、どういう場所に立地するのが効果的でしょうか。）
- ・今の「マチの中心」か、これからの「マチの中心」か。
（マチの中心についての考え方は様々。→まちづくり懇談会アンケート）
- ・将来のまちづくりに有効な施設となるためにも、新しい留萌の拠点形成について、あらためて考えてみる必要があります。

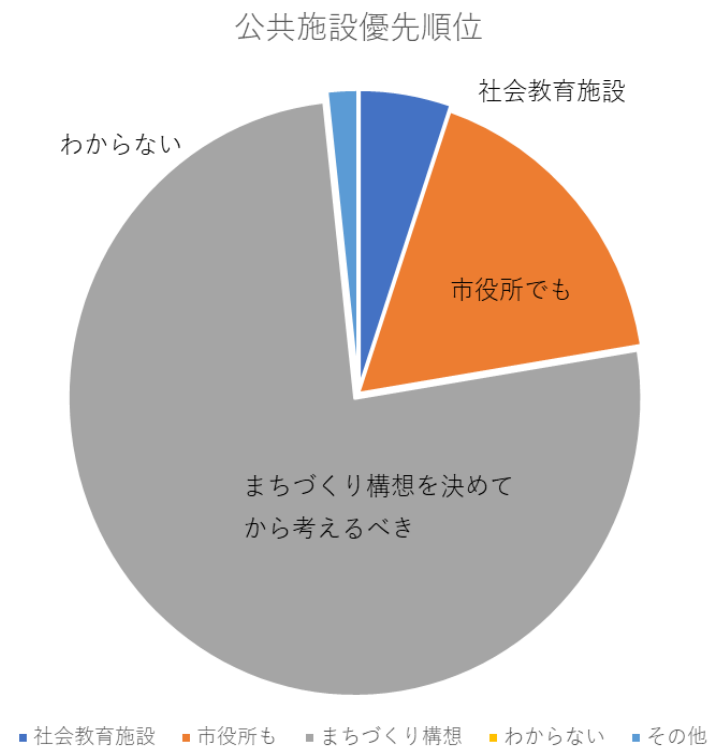
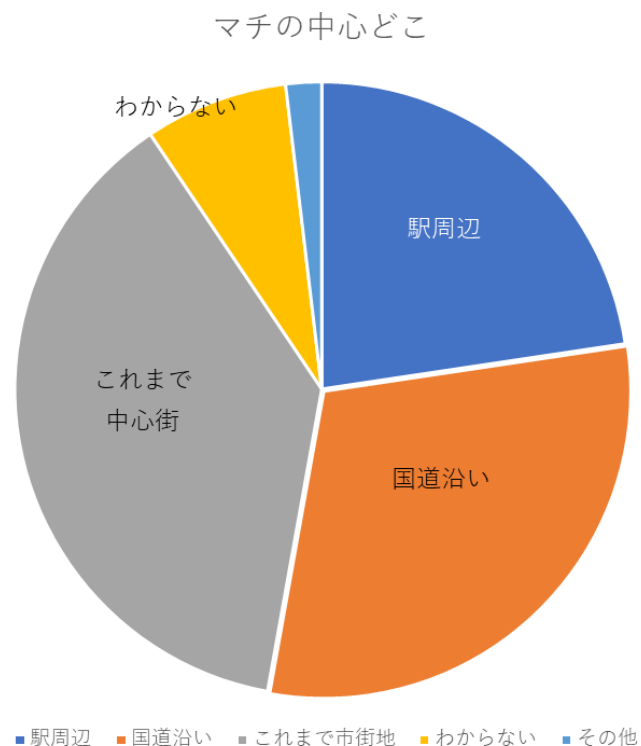
その前に

● 災害リスクは大丈夫？

- ・ハザードマップからみた災害リスクとその対応（これまでの治水対策と強靱化に対する考え方）
- ・日本海沖での過去における津波データと今後の大規模津波リスク（公表データ）
- ・災害時における一時避難機能
- ・災害に強い建築工法等

2021.10.24開催

<参考資料①>



アンケート質問内容①「マチの中心はどこが望ましい？」

- 1 駅周辺(ただし廃線後)
- 2 国道沿い
(イメージとして神社下～生協間)
- 3 これまでの市街地
(イメージとして錦町～開運町)
- 4 よくわからない
- 5 その他

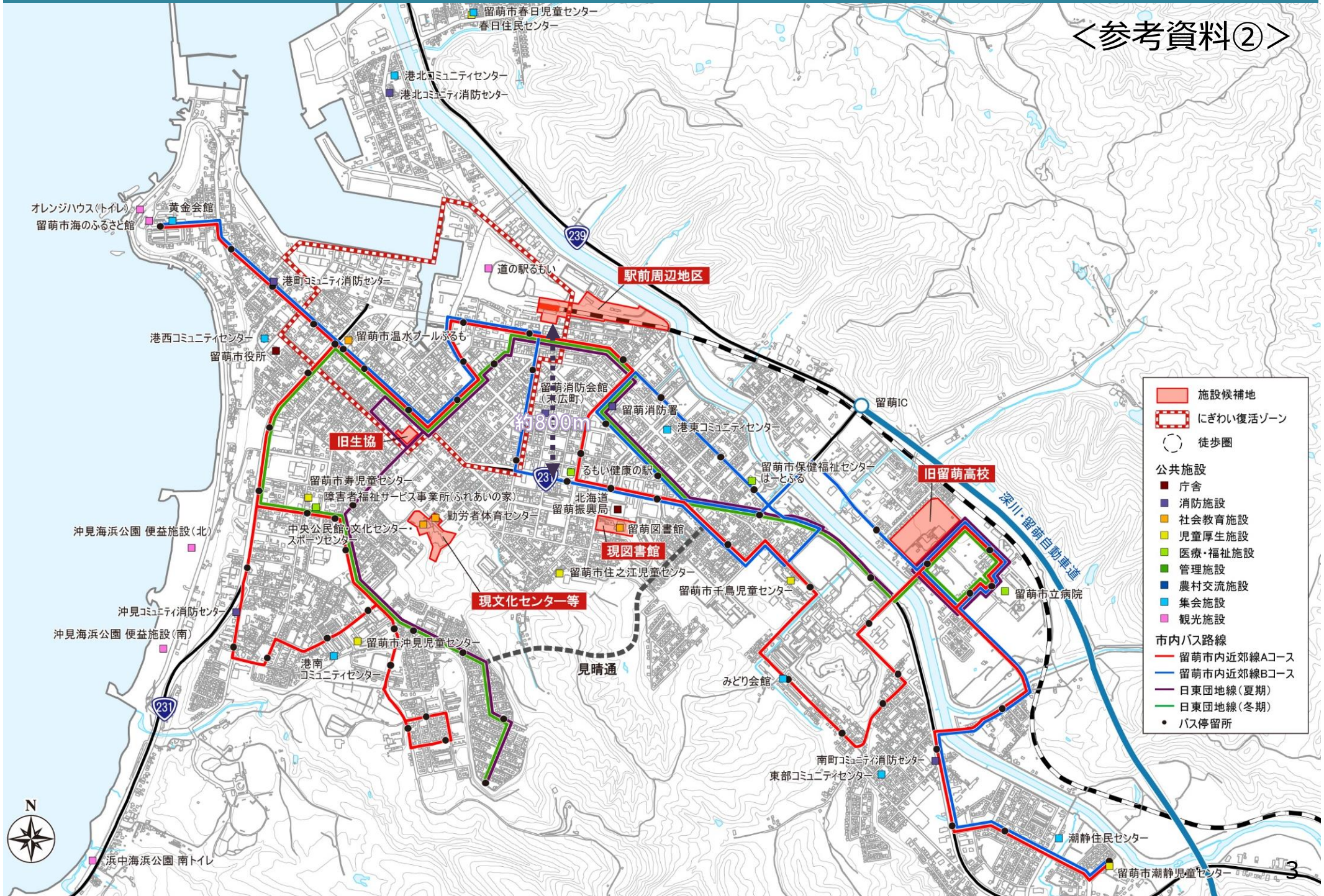
アンケート質問内容②「公共施設整備の優先順位は？」

- 1 社会教育施設を優先すべき
- 2 市役所建設でも良い
- 3 将来のまちづくり構想を決めてから考えるべき
- 4 よくわからない
- 5 その他

都市計画マスにおける「にぎわい復活ゾーン」

R2年度第2回検討会議提示資料

＜参考資料②＞



重点まちづくり方針 「にぎわい復活ゾーン」の整備方針

＜参考資料③＞

『港ふれあい地区』

- ・地区内における歩行者の回遊動線のほか、港～船場公園、港～中心市街地、港～黄金岬など、歩行者ネットワークの整備を図る

- ・南岸地区：歴史的建造物の有効活用を図るとともに、港を活かした多様な交流を推進

- ・副港地区：市民や留萌を訪れた人が快適に時を過ごせるよう、緑豊かな親水空間を整備

- ・『にぎわい復活ゾーン』は、主要幹線道路、幹線道路、補助幹線道路及び歩行者の回遊動線が集約するゾーンとして位置づけ、自家用車やバス等の交通機関が立ち寄りやすい交通基盤の整備を図る
- ・多くの人が集い憩う場があるなど、歩いて楽しい魅力ある沿道環境の整備を図る

『住・商二人三脚地区』

- ・にぎわいのある“まちなか”とするため、住宅や店舗、業務施設が調和する住・商二人三脚型の市街地形成を図る
- ・副港周辺においては、水辺を活かした質の高い住宅地の形成を目指す

『にぎわい誘導の核』

- ・人や車の流れを『交流とにぎわいの核』に導くため、「十字街周辺地区」と「JR留萌駅周辺地区」を『にぎわい誘導の核』と位置づけ、誘導の核にふさわしい魅力ある地区を目指す

- ・東岸地区：海洋性レクリエーションゾーンを目指す

『ふれあい交流地区』

- ・緑豊かな憩いの場として、市民同士、市民と留萌を訪れた人との出会いの場、交流の場、情報発信の場として整備
- ・その立地性や面積的なことから、緑豊かな憩いの空間を目指すとともに、様々な活用方を検討し、有益なにぎわい空間を目指し、整備を図る
- ・西側の『港ふれあい地区』、南側のJR留萌駅や中心市街地との連結に十分配慮した歩行者動線の整備を図る

『にぎわい助っ人地区』

- ・『にぎわい復活ゾーン』のにぎわいを支えるため、JR留萌駅を含めた駅前広場の整備や、バスターミナルの集約化、駐車場の整備を図る
- ・『ふれあい交流地区（船場公園）』と『交流とにぎわいの核』を結ぶ歩行者動線の整備を図り、歩くことによって楽しさや心地よさを実感できる沿道を目指す

『にぎわい促進地区』

- ・中心市街地に求心力を持たせ、かつてのにぎわいを取り戻すための整備を図る

『交流とにぎわいの核』

- ・経済センターや公益的施設、貸事務所等を備えた複合施設の整備を検討
- ・歩行者ネットワークの起終点
- ・中心市街地のかつてのにぎわいを取り戻すための土地利用や機能集積上必要な駐車場を市街地整備に併せて整備するとともに、既存の駐車場の有効利用を図る

『にぎわいスクラム地区』

- ・沿道の既存商店街で構成され、中心市街地のかつてのにぎわいを取り戻すために、『にぎわい促進地区』と協力しあい整備を図る



にぎわい復活ゾーン

【留萌市都市計画マスタープラン（2003）】